

新潟産業大学報

# 青海波

せいがいは

2009

VOL.18

# Seigaiha

NIIGATA SANGYO UNIVERSITY



学長から卒業生一人ひとりに  
『学位記』が手渡されました

学長メッセージコンパクト・ユニバーシティ宣言

[特集1] - 地球くらぶ

[特集2] - 阿部ゼミナールの「地域通貨」

[特集3] - 社会人も学ぶ大学の在り方

就職／クラブ・サークル活動／図書館情報／退職・新任教員

輝く卒業生／学事日程



新潟産業大学



## コンパクト・ユニバーシティ宣言

学長 広川俊男

Toshio Hirokawa

少子高齢社会が現実となった日本では、大都市と地方の地域間格差の広がりが深刻化しています。大都市への若者の流出に歯止めがかからず、このままでは、地方の経済や文化活動の将来に不安が募るばかりです。地方に活気を取り戻すことは急務であり、多くの人々の願いでもあります。こうした状況下で、新潟産業大学は今、地域に根ざし、地域を支える人材育成を目標に掲げたコンパクト・ユニバーシティへの転換を宣言します。

コンパクト(compact)は、言うまでもなく「小さくて中身が充実しているさま」であり、1学部2学科(経済学部経済経営学科と新設の文化経済学科)への再編をぴったり表す言葉です。その核となるのは、60年を超える搖ぎない伝統を誇る「経済」です。私達は、そこに「経営」「文化」「教養」「技術」「語学」など、長く培ってきた専門分野を濃縮化し、小さいが個性豊かな大学を目指します。学生一人ひとりの顔が見えるコンパクト・ユニバーシティのメリットを生かしたきめ細やかな授業を通じて経済・経営の基礎

をしっかり学ばせます。同時に、コミュニケーション能力や社会人基礎力、そして、グローバル社会の課題にも、先行きが懸念される地域の諸課題にも積極的に対応できる知識と資質を身につけた人材を育てます。

中越沖地震からの復興に挑む柏崎の街にとっては、何よりも学生たち一人ひとりの「若さ」と「エネルギー」に期待がかかります。海外から、そして、日本各地から集う本学の学生達に私は、学生時代から「地域と積極的に関わろう!」と呼びかけたいと思います。その経験はやがて、あなた方が羽ばたくそれぞれの地で、その地域を支える力になると信じます。今年は新潟国体の年であり、県内各地で競技が行われます。あなたと一番関わりの深い地域で、その地域の一員として、国体の成功にも力を提供しましょう。

真面目で、素直で、頑張り屋という先輩達が築き上げてきた「産大気質」に新しく「地域を支える力」を加えましょう。

Seigaiha  
特集  
1



## 青少年国際経済人育成事業 「地球くらぶ」事業報告

近年、グローバル化社会の波に乗り、この柏崎刈羽地域の外国人人口も年々増加しています。この加速する国際化にあって、次代を支える青少年の育成は、地域の活性化において重要なテーマの一つとなっています。

このような状況を踏まえ、国際口岸第2560地区(新潟県)より支援を受け、今年度の新規事業として、本学が培ってきた国際交流のノウハウを生かし、柏崎刈羽地域の未来を担う国際感覚を有した青少年の育成を目的とした「青少年国際経済人育成事業」を開催してまいりました。

そして、この「地球くらぶ」を、「青

少年国際経済人育成事業」の導入段階に位置付け、低年齢層に対し体験的に学ばることにより、国際交流への興味を引き出すことを目的として開講したものです。

講座は10月から2月までの期間に、様々な文化の視点から全5回の講座を開講しました(表1参照)。

受講者数は、柏崎教育委員会並びに柏崎地域国際化協会のご協力をいただき、子どもたちや保護者など延べ120名という予想を越える多くの方々に受講いただきました。特に最終回の講座では「地球くらぶ文化祭」を同時開催し地域の一般の方々にもご参加いただき非常に盛りました。

なお、本事業は、平成21年度以降も様々な形態で開講を予定しています。

**「食の文化体験」での調理実習風景**

表1	事業概要
10/11~17 プレオープン「東アジア文化展」	会場:ギャラリー13代目長兵衛
10/18 「初めての中国・韓国・モンゴル文化紹介」	会場:ギャラリー13代目長兵衛
11/15 「あいさつやマナーの文化比較」	会場:ギャラリー13代目長兵衛
12/20 「海外のお茶の文化体験」	会場:ギャラリー13代目長兵衛
1/24 「遊びの文化比較」	会場:ギャラリー13代目長兵衛
2/2 「食の文化体験」「地球くらぶ文化祭」	会場:柏崎市民プラザ

<div



早稲田大学生による「アトム通貨」事例を阿部ゼミ生が取材

## 「地域通貨」で 地域の活性化を 目指しています。

経済学部  
阿部ゼミの奮闘記



地域経済の衰退は非常に深刻な社会問題となっています。このような現状の中、中央政府任せではない、地域独自の取り組みの必要性が高まっています。地域経済の再生のためにには、地域内で経済循環をおこしていく必要があります。そのためのツールのひとつが地域通貨です。

地域通貨は90年代後半、日本全国、多くの地域で一斉に導入の試みがなされました。しかし、海外では非常に大きな成功をおさめた事例が多数あり、日本においては地域通貨のポテンシャルをまだ活かしきっていないといえると思います。

そこで、阿部ゼミナールでは、地域の制度設計を目指し、話し合いを進めています。そのため、今年の1月から3月までの期間で、新潟産業大学内では、学生、教職員と学内食堂、書店の間で流通する地域通貨を実験的に導入し、その効果を検証しています。これは、地域通貨の学内版なので、ゼミナール内では学内通貨と呼んでいます。



学内で試験的に流通させた産大地域通貨

この学内通貨の流通システムは非常に単純です。まず、大学周辺の清掃活動や、市内福祉施設などでのボランティア活動に参加した学生に、その時間に応じて学内通貨（1時間で100円分程度）を配付します。ここで配付された学内通貨は新潟産業大学内の3店舗（書店、食堂、カフェ）で、実際に現金同様に使用することができます。学内通貨を受け取った学内3店舗には大学予算から学内通貨受取分の現金を月末に支払う制度になっています。このため、現段階の学内通貨は、独立した地域通貨とは言えません。なぜなら、制度の外側からの補助金なしには制度が成り立たないからです。

しかし、この点につきましては、学内3店舗のみの流通実験を、将来的に市内の様々な店舗に拡大することによって克服できる可能性があります。つまり、通貨とは本来、社会で循環することによって通貨としての機能を発揮できるということです。学内流通では学内通貨を受け取った各店舗は、学内の他の店舗で使用する場面は限定されますが、参加する業種の多様化が実現すれば、受け取った地域通貨は、単なる割引券ではなく、自分も他のお店で使用できる現金となるのです。このように地域通貨が地域で循環していくば、地域通貨に対する外部からの補助金は必要無くなりります。

以上の地域通貨制度を通して期待できる効果は、おおまかに3つあげることができます。1つめは、ボランティア活動の活性化であり、2つめは、地域経済の活性化、そして、3つめは、地元の学内通貨の流通実験でも、学生は、市内福祉施設での介護体験や仮



神戸大学生、ボランティア受け入れ  
事業所の方たちとの報告会

今後は、この学内通貨流通実験の検証をゼミナールで行い、さらに発展させ、柏崎市で流通する地域通貨を実現し、柏崎経済の活性化と地域コミュニティーの活性化に何らかの貢献をしていきたいと考えております。

少子高齢化が進む中で、大学に対するニーズも大きく変化してきています。元来大学は、20歳前後の青年層を対象とした教育機関としての役割を果たしていました。しかし、昨今の産業の振興や、情報技術の著しい発展などによる社会情勢の変化に伴い、20代前半で終了する学習では追いつかず、働きながらでも、更に高度な知識を習得しないと成り立たない社会にならざるを得ません。またそれと同時に、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ろうと考える人たちが多くなり、

そのためには『学びづける』こと

が不可欠であると思うようになってきました。

このような「学びたい人たちが何時でも学べる場」として、大学が機能すべき時代がやってきました。本学も開学以来、市民向け公開講座や講演会を実施し、また科目等履修生制度を導入するなど「生涯学習」ニーズに対応してきました。1999年には、学内に生涯学習センターを設置し、様々な学ぶ機会を提供し、地域に開かれた大学としての役割を十分に發揮していくことを考えました。



社会人の学び直し教育プログラムの講義風景



公開講座のワンシーン

## 社会人も学ぶ』大学の在り方

さらには、  
平成19年度  
より文部科

それから10年が経つ今、本学にはたくさんの社会人の方が学びに来ています。本学学生と机を並べて学んでいる方、年間を通してたくさんの方など。また、開学20周年を機に、50歳以上の柏崎市民、刈羽村民の入学者に対し、シニア学生奨学制度を開設していますが、それを熱心に受講している方、長期履修制度を利用して正規生にならざるを得ません。また、開学20周年の方々が、本学に入学されることを期待しています。

学省の委託を受け、「社会人の学び直し教育プログラム」を実施しています。これは、柏崎の産業界のニーズに基づき、職業人としてのスキルアップを目指す方、地元産業界への(再)就職を考えている方などそのための体系的な人材育成プログラムです。

これからも、20歳前後の学生と社会人の方たちが、本学キャンパスで共に学ぶ光景が見られることでしょう。

社会人向け学びの場に関する質問は、お気軽に大学までお問い合わせください。

# 就職に強い新潟産業大学の理由。

## 新潟産業大学 就職合宿研修会

平成20年度本学卒業生の就職率は、3月14日の卒業式時点で『92.3%』と、ほぼ前年並みとなりました。今年度は、当初の売り手市場から一変して世界的な景気減速となり、その影響で日本国内でも業績が悪化する企業も少なくありませんでした。そのような中でのこの数字は、大健闘と言えるでしょう。

また、本学経済学部の2008年3月卒業生の就職率は、読売ウイークリーの「就職に『超』強い大学400」で全国2位、私立大学では堂々の1位に輝きました。

では、なぜ新潟産業大学は開学以来『就職に強い』と言われてきているのでしょうか。それを実証する、本学の就職行事二大イベントをご紹介します。

まずひとつ目。日頃お世話になっている企業や団体の代表者、人事担当者をお招きし開催する『就職懇談会』です。平成20年度は、11月26日(水)午後3時よりホテルイタリア軒で開催、県内外の企業の社長、人事担当の方々など90社113名が出席されました。第一部、学長、就職委員長の挨拶の後、蓮池 薫専任講師が「コミュニケーションの大切さ～私たち家族の場合～」と題し講演を行いました。想像を絶する体験を経た中での家族とのコミュニケーションのあり

かたや、事実に基づいた説得力のある話は聴衆を引きつけていました。第二部の懇親会は、今年度の内定のお礼や来年度の採用状況、卒業生の入社後の様子など教職員との情報交換の場です。「産大の卒業生は、真面目で素直。芯がしっかりしていて粘り強い」と太鼓判を押され、安堵しました。

ふたつ目は、いよいよ就職活動本番スタート!! 「就職合宿研修会」です。3年生を集め、2月6日(金)～7日(土)一泊二日で恒例の就職合宿を、高柳町県立こども自然王国で開催しました。厳しい雇用環境を打破し「就職活動の成功」というひとつの目標に向かって参加者全員が一丸となり実践力を付けていくことがこの合宿の目的です。面接対策重視のメニューは、「卒業生体験談」から始まり、「個別面接」「業種別懇談会」「グループディスカッション」で一日目を終了、翌日のステージ上で行う「集団模擬面接」でクライマックスに達します。参加者からは、「先輩の就活、仕事の話が大変役立つ」「改善すべきところがたくさん見つかったのでこれから直して本番の面接に臨みたい」など有意義な合宿だったと感想が寄せられました。

これからも、本学教職員は頑張る在学生をサポートしていきます。

	男子	女子	合計
就職内定率 (%)	<b>92.5%</b>	<b>90.9%</b>	<b>92.3%</b>
就職内定者数	74人	10人	84人
新潟県(本社所在地)内定率 (%)	<b>67.6%</b>	<b>60.0%</b>	<b>66.7%</b>
新潟県(本社所在地)内定者数	50人	6人	56人
上場企業内定率 (%)	<b>21.1%</b>	<b>11.1%</b>	<b>20.0%</b>
上場企業内定者数	15人	1人	16人
就職希望率 (%)	<b>84.2%</b>	<b>73.3%</b>	<b>82.7%</b>
就職希望者数	80人	11人	91人

内定者の5人に1人は上場企業、3人に2人は新潟県内企業就職

卒業者数(日本人) 男子 95人 女子 15人 合計 110人  
平成21年3月卒業式(3月14日)現在

## 平成20年公認部大会成績

クラブ名	大会名	部門・種目および大会出場者名(学年)	成績
空手道部	第34回北信越学生空手道選手権大会(4月)	個人組手 岡部洋朗(経3) 庭木義二(経4)、二宮廣毅(経2)	ベスト8 出場
	県民体育大会兼第63回国民体育大会(県予選会)(4月)	成年男子 大房武史(経4)、佐々木和也(経4)、伊藤知玄(経2)、長谷川健輔(経2)、横田将人(経2)	出場
卓球部	第20回島田オープン卓球大会(4月)	一般男子の部 シングルス 佐々木和也(経4) 蘭宗宏(経3)	ベスト8 出場
	第56回春季北信越学生卓球選手権大会(5月)	ダブルス 佐々木和也(経4)、蘭宗宏(経3) 佐々木和也(経4)	ベスト4 6位
	第20年度夏季北信越学生卓球選手権大会、兼第75回全国学生卓球選手権大会北信越地区予選(8月)	シングルス 蘭宗宏(経3)	5位
	第75回全日本学生卓球選手権大会(10月)	シングルス 佐々木和也(経4)	出場
	第56回秋季北信越学生卓球選手権大会(10月)	シングルス 佐々木和也(経4)	準優勝
	ダブルス 佐々木和也(経4)、蘭宗宏(経3)	ベスト4	
水泳部 水球部門	第12回全国日本水球リーグ戦(5月)	丸山史(産4)、柴田裕介(経3)、松浦洋也(経3)、井上智史(経2)、大山航史(経2)、鷲下和也(経2)、高橋和介(経2)、千賀研二(経2)、猪江智明(経2)、中野泰平(経2)、佐藤忠彦(経2)、三井裕紀(経2)、秋元泰士(経1)丹野朝平(経1)、野口健一(経1)、斎藤治郎(経1)	2部5位 2部1位
	2008年度関東学生水球リーグ戦(6~9月)		
	第94回日本学生水泳競技大会【水球競技】(9月)		
軟式野球部	第31回新潟県軟式野球春季大会(6~7月)	田村良(経4)、土畠拓(経4)、瀧井健吾(経4)、市川一(経3)、江部造哉(経3)、高崎佳治(経3)、神河利明(経3)、宮川卓(経3)、中嶋慎(経3)、寺澤大(経2)、山本泰(経2)、田中慶太(経2)、新垣圭志(経2)、渡辺透也(経2)、鶴見貴之(経1)、柳木真人(経1)、吉田直司(経1)	6位
	第30回新潟県軟式野球秋季大会(9~10月)		
テニス部	第34回モダ杯グランプリテニス大会(6月)	ダブルスBクラス 牛山仁和(産4)、佐藤龍大(経1)、堀田耕一(産4)、長橋仁志(経2)	優勝
男子	第29回全国大学バーナーリー大会(4月)	青木将也(経4)、近藤祐紀(経2)、近藤祐紀(経2)、小柳慎太郎(経1)	出場
バレーボール部	第39回北信越大学男女バレーボール選手権大会(5月)	井上貴志(経2)、近藤祐紀(経2)、小柳慎太郎(経1)	3部8位
	第21回全国ハイセービングリーグ選手権大会(5月)	4×50m障害物リレー 斧田耕一(産4)	8位
	第21回全国ハイセービング種目別選手権大会(6月)	ボールリース 青木将展(人4)	6位
	オーバーマンマン 斧田耕一(産4)	決勝進出	
	オーバーマンマリー 青木将展(人4)、斧田耕一(産4)	決勝進出	
	レキシヨンマーブルキュー 青木将展(人4)	6位	
	ヒーリー 青木将展(人4)	5位	
	ビーチリリー 青木将展(人4)	6位	
	ボーリング 青木将展(人4)	5位	
ライフセービング部	第23回全日本学生ライフセービング選手権大会(9月)	オーバンマン 斧田耕一(産4)	4位
	第4回ライフセービング・チャンピオンシップス in島根(9月)	ボーリードリーム 斧田耕一(産4)	決勝進出
	第4回ライフセービング・チャンピオンシップス in島根(9月)	ランチーナ・ブライム 斧田耕一(産4)	優勝
	第4回ライフセービング・チャンピオンシップス in島根(9月)	ボート・ラッシュ 斧田耕一(産4)	4位
	第4回ライフセービング・チャンピオンシップス in島根(9月)	レスキュー・レスキュ 青木将展(人4)、斧田耕一(産4)	2位
	第4回ライフセービング・チャンピオンシップス in島根(9月)	ボーデレスキュー 青木将展(人4)	2位
	ボーリドリーム 青木将展(人4)、斧田耕一(産4)	優勝	
	第34回全日本ライフセービング選手権大会(10月)	オーバンマンリー 青木将展(人4)	2位
	ボーリース 青木将展(人4)	7位	
	ボーリスキー 青木将展(人4)	7位	
	ビーチリリー 青木将展(人4)	9位	
サッカー部	第16回コンドウカップ(4月)	中川秀(経3)、山田耕史(経3)、小林快史(経3)、東部拓馬(経3)、移田透太(経3)、出場	
	平成20年度新潟県大学駅伝サッカーリーグ(6~8月)	中川秀(経3)、村山貴章(経3)、田代真次(経3)、高橋義典(経3)、酒井伸也(経3)、坂井亮太(経3)、2部4位	
	横浜選手権大会(10~11月)	長谷川誠太(経2)、秋山勇貴(経2)、中野吉美(経2)、若林三明(経2)、金谷誠太(経2)、大矢玲央(経2)、大矢玲央(経2)、中野吉美(経2)、柳原岳(経2)、青沼弘(経2)、森義嘉(経1)、森義嘉(経1)、吉田貴(経1)、吉田貴(経1)	準優勝
バスケットボール部	新潟県学生連盟バスケットボール県内リーグ(6月)	白井悠輔(経4)、佐藤聰(経3)、瀧澤竜(経3)、東部拓馬(経3)、仙田治(経2)、渡辺雄太(経1)	出場
弓道部	第60回新潟県下水先大会(4月)		
	第28回県下水原大会(9月)		
	横浜市民武道大会(9月)		
	第20回上越地区選手権大会(10月)		
	第14回県下四半の弓道大会(10月)		
剣道部	第50回北信越学生剣道選手権大会(5月)	一般男子の部 池田重美(経3)、榎本峻大(経3)	出場
	第50回北信越学生剣道選手権大会(9月)		
	第48回新潟県居合道大会(11月)		
モンゴル相撲部	仙台モンゴル相撲大会(5月)	個人 田中忍(経3)	二段の部準優勝
	モンゴル相撲選手権大会(9月)	巴岡孟亮(バトモンク)(経4)	3位
	新潟農業大学モンゴル相撲大会(10月)	個人 巴岡孟亮(バトモンク)(経4)	8位
バドミントン部	第41回柏崎バドミントン総合選手権大会(7月)	シングルス 佐藤弘(経3)	4回戦進出
		平野慎大(鹿2)	4回戦進出
		■村松里(経3)	準優勝
		ダブルス 平野慎大(鹿2)	出場
		土屋義弘(経2)	出場
女子 バレーボール部	第56回春季上越ハイボール大会(4月)		
	第29回全国大学ハイボール大会(4月)		
	第39回北信越大学男女ハイボール選手権大会(5月)	今井利恵子(経4)、横山慶実(人4)、高島さおり(経2)、高松真琴(経2)、尾崎優里(経2)、高津花名(経1)、吉山真琴(経1)、坂内奈愛(経1)、丸田梓(経1)	出場
	新潟日報特別企画2008年度第53回柏崎ハイボール選手権大会(5月)		
	第30回信越大学ハイボール大会(9月)		
	第56回秋季北信越大学男女ハイボール選手権大会(10月)		

他府県 フック大会

全国大会(オープン戦含む)

世界大会

## クラブ・サークル活動の記録

# 学生が、輝く瞬間!



今年度は卓球部、水泳部(水球部門)、ライフセービング部、アーチェリー部が全国大会に出場しました。

ライフセービング部の青木将展君(人文学部4年)は4年連続で日本代表選手として世界大会に出場し、輝かしい成績を残しました。また、柏崎市体育協会の体育人表彰式でも2年連続で「スポーツ栄誉賞」を受賞しました。

アーチェリー部はまだ同好会ですが、部長の宇佐美祐生君(経済学部1年)は高校時代2度のインターハイ出場実績を持つ選手で、今年度は7月の国体新潟県最終予選で5位、8月の北信越学生アーチェリー個人選手権大会で3位に入賞と大健闘。そして2月に行われた全日本学生室内アーチェリー個人選手権大会にも出場することとなりました。



## 図書館情報

新潟産業大学附属図書館は、  
本学学生・教職員の学習・研究の参考とするべく、  
約13万冊の図書をはじめとし、  
新聞・雑誌等の資料を収集、利用者に提供しています。

図書は、日本のものばかりではなく、英文はもとより、近隣諸国である中国語、ロシア語、朝鮮・韓国語による外国図書を多数所蔵しています。

雑誌は専門誌・学術誌が中心ですが、その分レポート等の調査・研究の時には非常に役立つものとなっております。雑誌の中には本学教員の論文を収録した「紀要」もありますので、ぜひ活用して下さい。

また、大学の地域貢献活動の一環として、一般の方への図書館開放も行っています。図書館への入館はもちろん館内での資料の利用に関しては、手続きなしで自由に行なうことができます。

また15歳以上（中学生を除く）の柏崎市民、または市内の職場・学校に通勤・通学している人ならば、本を借りることができます。その際は、住所・氏名の確認のできるもの（免許証等）をカウンターまでお持ち下さい。利用証を作成致します。利用証の有効期限は作成した年度内、貸出冊数は3冊まで、貸出期間は

2週間以内となります。

経済・経営系の大学の図書館などで、その分野に関しては充実した蔵書を有しております。簿記・会計や商業・流通等に関する本をはじめ、それ以外にも『日経文庫』シリーズの購入などにより多様な関係分野の本をとり揃えています。ほかにケインズ、ガルブレイスやハイエクなどの著名な経済学者の全集・著作を網羅。さらには経済・経営系以外の分野においても、『岩波文庫』に代表される教養関係の図書の収集に努めております。

図書館の使い方が分からぬ、探している本が見つからないなど、何かご不明な点がありましたら、遠慮なく我々図書館員に声をおかけ下さい。開館日や開館時間等は期間によつて異なりますので、来館の前に図書館のホームページでご確認下さい。なお、そのホームページからは当館の蔵書の検索も可能です。

## 退職教員

ありがとうございました

### 「3」数字絡みの私の教職人生余話

22歳から今日までの中断なしの48年間の教職人生。思えば、私の教職人生は何故か「3」数字絡みでした。中学教諭3校、教頭3年、校長3校、しかも柏崎三中で退職。この間も、越路町教委、県教委本庁、中越教育事務所の3教委で教育行政職に従事。校長退職後も柏崎市教委で3年。新大、国際福祉医療カレッジ、産大の3校で現場指導のお手伝い。産大では教職課程1期生10人（内聴講生1）が教職免許状を取得し、2人が県教委定数枠内専任講師として採用になり、教職課程の将来展望が描けたものと安堵の思い。これもひとえに杵淵先生と教務課等事務局職員の着実な過程経営のおかげと感謝の思い一入。

4月から客員教員として12コマの授業で新生産大の学生と「教育実践勝負」ができるとは無常の喜び。「教職人生再起動」です。

産大の将来に、新しい風と光が溢れることを祈りながら“ありがとうございました！”

### 教え研究することを楽しむ

産業界での技術開発や前任大学での产学連携などの経験を基に、産業システム学部で4年間情報産業分野の教育と研究に携わって参りました。新たに開講する授業が多く、「教えることは学ぶこと」の言葉どおりの日々でした。卒業研究では学部の教育理念「地域産業に貢献する人材の育成」を具現化する研究設定と指導に腐心しました。学生たちが大いに努力して卒業研究に取り組んでくれたので、私自身も共に研究することの楽しさを味わえたことは幸いでした。異郷で頑張る留学生の指導は苦労が多かった反面、教育指導の改善にもつながったと思います。

厳しい経営環境を乗り超えて、新潟産業大学が人材と知を創出提供する拠点として地域に大いに貢献することを期待しています。4年の在職期間中たいへんお世話になりました。



古川泰男  
産業システム学部教授

## 新任教員



伊東真美  
経済学部講師

よろしくお願いいたします

今年の4月から新潟産業大学に赴任することになりました伊東真美です。新潟に来る前は韓国の釜山にある大学で2年間日本語を教えていました。今年からは主に留学生に日本語や日本文化を教えます。

大学生には幅広い知識を身につけることはもちろん、実社会で役立つような実践的な能力を身につけてほしいと思います。また、サークル活動や学校行事に積極的に参加して、仲間との貴重な思い出を作ったり、仲間と協力して一つのことを成し遂げる喜びも感じてほしいです。

新潟は初めての土地でわからないことが多いですが、早く生活に慣れ、学生が充実した学生生活を送る手助けができればと思います。よろしくお願いします。

**輝く卒業生  
紹介**



柏崎市消防署勤務  
**村山祥雄さん**  
経済学部2008年卒

大学では、たくさんのこと学びました。高校時代から続けていた野球を大学でも継続したいと思い、迷わず硬式野球部に入りました。大学の部活動でも足らず、ナイター野球などで社会人の方と一緒にプレーをしたのも、今となっては楽しい思い出です。また、柏崎野球連盟に審判員登録し、高校野球のジャッジもしました。審判は、現在も続けています。

大学3、4年次には会計学のゼミナールに所属し、簿記検定などにも挑戦しました。このように、勉学や野球を通して、集中力とコミュニケーション能力を養ってきたように思います。

中越大震災や中越沖地震を経験し、人命救助に携わる人たちの情熱と勇気に感動し、消防士になって地元の人たちの役に立ちたいと強く思うようになりました。採用試験にあたっては、就職課の方や先輩からのアドバイスがとても役に立ちました。

半年間の研修を終え、今は安全・迅速・確実な活動を念頭に、柏崎市消防署で訓練を行なっています。予防のための業務もとても重要で、毎日の訓練はとても厳しいですが、市民の方から頼られる消防士を目指して努力していきたいと思います。

今振り返ると、新潟産業大学での時間は、私を成長させてくれた貴重な時間でした。

### 平成21年度 学事日程

<b>4月</b>	5日(日)	入学式・新入生歓迎会
	6日(月)~8日(水)	ガイダンス・健康診断
	7日(火)~8日(水)	新入生学外合宿研修
	9日(木)	春学期授業開始
	9日(木)~15日(水)	履修登録期間
<b>7月</b>	28日(火)~8月3日(月)	春学期末定期試験期間
<b>8月</b>	5日(水)	夏期休業開始
	5日(水)~12日(水)	集中講義
<b>9月</b>	未定	国際文化研修(海外研修)
	未定	日本文化視察研修(国内研修)
<b>9月</b>	24日(木)~25日(金)	秋学期履修ガイダンス
	28日(月)	秋学期授業開始
	30日(水)	卒業式
<b>10月</b>	10日(土)~11日(日)	紅葉祭
<b>12月</b>	28日(月)	冬期休業開始
<b>1月</b>	12日(火)	授業開始
	25日(月)~29日(金)	秋学期末定期試験期間
<b>2月</b>	2日(火)	春期休業開始
<b>3月</b>	13日(土)	卒業式

## 編集後記

### 青海波(せいがいは)

雅楽の舞人の装束に用いられた波形文様で、同心円状の波を左右交互に重ねた幾何学的な文様のことです。

この文様の由来は遠くシルクロードまで遡ることができます。私たちの大学も、地域を知り、世界を知ることを教育の目標にかけています。

このたび新潟産業大学は、新たに文化経済学科を加え、コンパクトユニバーシティを目指して、まさにこの文様のような大海原に船出します。

それにともなって学報「青海波」もリニューアルします。今号はそのための準備のためのものです。

世界を知るためにマスコミからの情報は欠かせませんが、それにもまして必要な地域密着型の情報を「青海波」は発信していきます。

この「青海波」を双方型のコミュニケーション紙にするためにも読者の方々からの貴重な情報やご意見をおまちしています。

新潟産業大学 広報委員長 梅比良眞史

# Seigaiha

青海波  
せいがいは

●発行日 平成21年3月25日

●発行・編集 新潟産業大学広報委員会

新潟県柏崎市軽井川4730番地

TEL 0257-24-6655 FAX 0257-22-1300